

【参考資料】

- 地域学校協働活動等の事例
- 福岡県社会教育委員の会議・審議テーマ
- 審議内容・審議経過
- 福岡県社会教育委員名簿

≪ 地域学校協働活動等の事例 ≫

「鍛ほめ福岡メソッド」の視点を取り入れた地域学校協働活動（福岡モデル）を推進する上で参考となる事例を掲載する。今後、「福岡モデル」を構築していくため、それぞれの活動の中に、「鍛ほめ福岡メソッド」の3つの視点である「目標設定の活動」、「挑む活動」、「振り返る活動」をしっかりと位置づけることで、「福岡モデル」になっていくと考えられる。

1 「地域学校協働活動」を実施する中で、地域におけるつながりづくりや中学生による主体的な地域貢献活動の事例。 ※国、県、市町村の予算を活用して実施。

- 教育資源活用事業運営委員会「米作り体験（筑後市立水田小学校）」
- 福岡中学校地域学校協働本部「地域貢献活動」

2 福岡県社会教育委員の会議において視察を行った事例

(1) 学校支援活動

- 小郡市立のぞみが丘小学校「『ふるさとのぞみ』学習」
国、県、市町村の予算を活用し、「地域学校協働活動」の「学校支援活動」として実施。

(2) 放課後等の学習支援や体験活動


- 飯塚市立菰田小学校「放課後子供教室」
市教育委員会が中心となり、国、県、市の予算を活用して「地域学校協働活動」の「放課後子供教室」として実施。
- 糸島市立加布里公民館「ASK（After School Kouminkan）」
「地域学校協働活動」としては位置づけられていないが、市費を活用し、公民館が主体となって放課後の学習支援を実施。
- 筑前町立夜須中学校「夜須中学校アフタースクール」
市教育委員会が中心となり、市の予算と子どもの参加費を活用して「地域学校協働活動」の「放課後の学習支援」として実施。


3 子どもによる地域貢献活動

子どもが地域の課題解決や地域貢献のために活動している事例。今後、「地域学校協働活動」として位置づけ、取組を推進することが望まれる。


- 糸島市立前原東中学校「東中やるキッズ」
- 特定非営利活動法人八女 SUN・SUN「ひまわり応援隊」
- 芦屋町ボランティア活動センター「りーどぼらんていあキッズ」
- 英彦山こてんぐ塾「ガイドボランティア」


1 地域学校協働活動におけるつながりづくりと地域貢献活動

1 市町村名	2 教室（本部）名	3 市町村の担当課（係）名
筑後市	筑後市立水田小学校 教育資源活用事業運営委員会	社会教育課 TEL 0942-65-7056
4 活動名 米作り体験	5 活動時間 8：45 ～ 16：00	
6 活動日 <input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性：（現役PTA会長）	
8 活動内容		
<p>米づくり体験に関しては、水の管理・農機具の使用等、学校だけでは対応できない。地域の支援があつてこそ実施することができる。そのため、初年度である今年、必要に応じて「支援スタッフ」としてのボランティアを募集し取り組んだ。「支援スタッフ」という役割や自覚は、学校や子どもたちへの関わり方の変化や多くのボランティアの参加につながった。</p> <p>そのため、米作り体験のまとめの活動として実施した「餅つき大会」は大</p>		 <p>【稲刈りの様子】</p>
<p>盛況で父親の参加が多くなった。学校の支援活動に対して、「支援スタッフ」として参加することは、地域住民の生きがいや充実感に結びつき、ボランティア同士のつながりを生み出している。</p>		
9 成果・課題・今後の展開		
<p>○本年度からコミュニティ・スクール（以下CS）を実施しており、CSと地域学校協働活動が両輪として実働することができ、地域の方に学校に必要な支援について理解してもらうことができた。</p> <p>◇今年度の取組が来年度以降に活かせるよう、人材リストを作成し活躍の場の提供に努め、地域に支援の輪を広めていく。また、地域が学校支援するだけでなく、地域と学校の双方向の「連携・協働」となるよう「学校から地域への交流活動」等の工夫として「お礼の会」を継続し、さらなる充実を図る。</p>		

1 市町村名	2 教室（本部）名	3 市町村の担当課（係）名
福津市	福間中学校地域学校協働本部	学校教育課 TEL 0940-62-5090
4 活動名 地域貢献活動	5 活動時間 不定期	
6 活動日 <input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性（PTA 役員 OB）	
8 活動内容		
<p>福間中学校では、コミュニティ・スクール（以下CS）として様々な活動があり、その活動に対して地域の方々からの支援と協力がある。そのような中、「ふるさと学習」や「高齢者疑似体験学習」などで、高齢者人口の実情を学習した生徒たちから、「松林清掃などの地域行事に自分たちも参加できないか」という声があがった。そんな生徒の思いを地域の方に伝えたい、地域とのつながりをもっと深めたいという支援者側の思いから、今度は「学校から地域に恩返し」を合言葉に地域貢献活動を始めるに至った。</p> <p>松林清掃では「高齢者が増えているので、中学生の関わりが本当に大きな力となる」、夏祭りの手伝いでは、「中学生の参画により祭りが活性化する」、未来会議では、「これからの地域を担う中学生の視点からの意見が聞けた」など、生徒が地域に出て活躍する姿に多くの方から称賛の声があがった。子どもたちの頑張りが様々な人や場所に広がりを見せている。</p>		 <p>【未来会議】</p>
9 成果・課題・今後の展開		
<p>○夏休み以降の地域貢献活動では、当初の予想を超え延べ600名以上の生徒が参加した。そのため地域の様々な団体からボランティア活動の依頼が届いている。</p> <p>●福間中の伝統行事であるが、内容については見直しの時期にきている。</p> <p>◇地域の方の意欲的な行事への参加に向け、魅力的な内容の検討。</p> <p>◇保護者にCSへの理解を促し、当事者意識をもってCS行事に参加してもらえるようにする。</p>		

2 福岡県社会教育委員の会議による視察先

1 市町村名	2 活動場所	3 連絡先	
小郡市	小郡市立のぞみが丘小学校	TEL 0942-75-7011	
4 活動名 「ふるさとのぞみ」学習	5 活動時間 総合的な学習の時間		
6 活動日 <input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (地 域)		
8 活動内容 地域人材を活用した学校支援活動として、学校と地域の連携協働体制の整備を図り、子どもの学びの充実を図ることを目的に実施している。 ○総合的な学習の時間の主なプログラム			
3年生	4年生	5年生	6年生
ありがとう地域の人 「いちご博士になろう」	リサイクル大作戦 「よりよい暮らしを求めて」	稲作づくり 「のぞみヒストリア」	日本の伝統文化 「勾玉づくり」
<p>保護者による読み聞かせと学校における地域の人材活用が重なったことがきっかけとなり、教育課程に位置づけた。また、コーディネーターのCSへの位置付けにより、スムーズな事業展開が行われている。</p> <p>ボランティア（GT）の年間目標を1,000人と設定している。そのためのチラシを学校が作成し、公民館が配布等の協力をしている。</p>			 <p>【イチゴ博士になろう】</p>
9 成果・課題・今後の展開 ○地域の応援者が増え、平成29年度はのべ1,000人、平成30年度は1,400人の協力者があった。 ○地域の専門性を学校に活かすことができるとともに、子どもたちの地域行事への参加が増えている。 ●コーディネーターが常駐できない。総合的な学習の時間におけるカリキュラムの改善。			

1 市町村名	2 活動場所	3 連絡先
飯塚市	飯塚市立菰田小学校	菰田交流センター TEL 0948-23-6819
4 活動名 放課後子供教室（英会話教室）	5 活動時間 10:00 ~ 12:00	
6 活動日 <input type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (行政)	
8 活動内容 高齢者など異なる年代との交流をもつことで、優しさや積極性・協調性などを身に付け、社会生活の中で必要となる「生きる力」と「心豊かな成長」を支援するとともに、子どもの居場所となり、学習に対する意欲の向上や基本的な生活習慣などを含めた総合的な学習の場を目指し実施している。 菰田では、英会話教室、習字教室、チャレンジ教室を、地域人材等の専門性を活かして実施しており、年々参加者が増加している。 英会話教室は子どもたちが「英語を楽しむ」ことを目的に取り組んでおり、長く取り組むことで確実に英語の知識量が増えている。また、1年生から6年生まで参加することで、子どもたち同士の関わりが多くみられることから、子どもたちの「心豊かな成長」にもつながっている。		
 <p>【アルファベットカルタの様子】</p>		
9 成果・課題・今後の展開 ○異学年や多世代で交流ができている。 ○多種多様なプログラムが構築されているため、学習以外で活躍できる子どもの居場所となっている。 ●学校行事・放課後児童クラブ行事の関係で、日程の変更や中止になることがある。 ●ボランティアとして若手の参加が少ない。		

1 市町村名	2 活動場所	3 連絡先
糸島市	糸島市立加布里公民館	TEL 092-322-3026
4 活動名 ASK (After School Kouminkan)	5 活動時間 15:30 ~ 17:00	
6 活動日 <input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (公民館長)	
<p>8 活動内容</p> <p>放課後に公民館の空き室を利用し、週1回の学習会を通して、児童の学力向上と居場所づくり、さらには地域の人材活用を図ることを目的に実施している。</p> <p>児童の学力向上に向けて公民館での取組を検討し、地域在住の元教員の協力のもと、平成26年から取組を開始した。このことは、学校運営協議会に、区長会長、公民館長が出席することで、子どもたちの現状に対する情報共有ができていることに起因している。</p> <p>あくまで学習の場であることから、時間的なメリハリをつけるとともに、家庭的な雰囲気づくりも大切にしている。そのため、公民館が子どもたちにとっての大切な居場所となっている。さらには、公民館で行われている他の事業への子どもたちの参加にもつながっており、公民館活性化にも役立っている。</p>		
<p>9 成果・課題・今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちに集中力がついてきている。 ○学習習慣が身につき、自ら進んで学習に取り組む姿が見られるようになってきている。 ●参加児童の変容をつかむため、学校とのさらなる連携が必要である。 ●公民館の空き室の関係で、参加者の増加が見込めない。 		



【学習の様子】

1 市町村名	2 活動場所	3 連絡先
筑前町	筑前町立夜須中学校	筑前町教育委員会 TEL 0946-22-3385
4 活動名 夜須中学校アフタースクール	5 活動時間 19:00 ~ 21:00	
6 活動日 <input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (元民間塾講師)	
<p>8 活動内容</p> <p>高度な専門性、指導力及び豊富な経験を有する民間教育団体に事業の一部を委託し、町内中学生の学習に対する意欲の喚起や家庭学習の定着を促し、学力向上を図ることを目的に実施している。</p> <p>県立高校退職校長と筑前町教育委員会等が連携することで、平成30年度から本事業が実施されており、退職校長や現職の高校教諭等が指導することで、参加生徒の将来を見据えた取組になっている。学習内容は数学と英語を学習している。年に2回市販テストを実施し、その結果を基に学各学年を2クラスに分け、学習している。</p> <p>教材はプリントやテキストを用い、授業の進度に応じて実施している。</p>		
<p>9 成果・課題・今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少人数で学力に応じたクラス編成をしているため、個に応じた指導ができ、全体的に学力の向上が見られた。 ○中学生の段階で高等学校教諭による授業を受けることで、高等学校進学に対する意識等の向上が見られた。 ●持続可能なシステムの検証が必要である。 		



【3年生英語学習の様子】

3 子どもによる地域貢献活動

1 市町村名	2 団体名	3 連絡先
糸島市	糸島市立前原東中学校	前原東中学校 TEL 092-323-4741
4 活動名 「東中やるキッズ」	5 活動時間 不定期	
6 活動日 <input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input checked="" type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (行政職員)	
<p>8 活動内容</p> <p>2016年4月に発生した熊本地震に対して、生徒会役員が自校でも支援物資を集める手伝いをしたいと考え、「FOR KUMAMOTO プロジェクト」という取組を行ったことがきっかけとなり、「東中やるキッズ」というボランティア活動が始まった。この活動をきっかけとして、「地域の中で中学生ができること、求められていること」を中心に、各学年から参加者が集まり(10~100名程度)、次のような活動を行っている。</p> <p>○ 地域の祭り翌日の清掃ボランティア ○ 中学校区内小学校の運動会ボランティア ○ 校区を流れる川の清掃ボランティア ○ 福岡マラソンの給水ボランティア ○ 子ども食堂でのボランティア 等</p> <p>活動に際し、市役所、校区公民館、小学校、駐在所、福岡マラソン実行委員会、福岡県土木整備事務所等と連携・協力をしている。</p>		
<p>9 成果・課題・今後の展開</p> <p>○中学生が地域行事に参加することで、中学生の郷土愛を深めることができた。 ○地域住民は、中学生と触れ合うことができる喜びを味わっている。 ○参加した中学生は、学校生活において率先して周囲の手伝いをしようとする意欲が高まった。</p>		



【子ども食堂ボランティア】

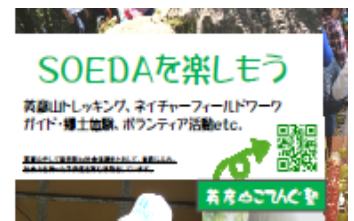
1 市町村名	2 団体名	3 連絡先
八女市	特定非営利活動法人八女 SUN・SUN	TEL 0943-54-2150
4 活動名 ひまわり応援隊	5 活動時間 不定期	
6 活動日 <input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input checked="" type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (NPO職員)	
<p>8 活動内容</p> <p>ひまわり応援隊は、平成24年に豪雨災害を受けた地域の復興を目的に結成され、今年で6年目を迎えた。現在は地域の活性化をめざし、小学生から中学生まで17名が参加し活動している。</p> <p>主な活動内容は、地域の大人たちと一緒に、ひまわりを育てて上陽町を元気にする活動と、九州北部豪雨災害で減少したホテルを復活させる取組である。育てたひまわりの切り花の配布やひまわりの種から抽出した「ひまわり油」の販売、老人施設の慰問等を行っている。</p> <p>この活動は、子どもたちがふるさとの魅力を発見する機会になるとともに、大人と一緒に活動することで社会性を育むことができ、大人も子どもたちから元気をもたらえるものになっている。</p>		
<p>9 成果・課題・今後の展開</p> <p>○子どもたちが地域を見つめ、地域を大切に思う気持ちが醸成されている。 ○多くの大人たちと共に活動することで、社会性の育成につながっている。 ●部活動等の関係から、中学生の参加が難しい。</p>		



1 市町村名	2 団体名	3 連絡先
芦屋町	芦屋町ボランティア活動センター	TEL 093-223-3546
4 活動名 リーどぼらんていあキッズ	5 活動時間 不定期	
6 活動日 <input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input checked="" type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (行政職員)	
<p>8 活動内容</p> <p>リーどぼらんていあキッズは、地域におけるボランティア活動や研修を通じて、子どもの規範意識や自尊感情を高め、社会の一員としての役割や責任意識を育成するとともに、ボランティア意識を定着させ、次世代の地域コミュニティを担う人材を育成することを目的に、平成24年度「福岡県子どもの社会力育成推進事業(子どもの社会力育成塾)」を活用し創設された。当初は町内の小学4年生～中学3年生を対象としていたが、平成27年度からは小学生～大学生までに拡充し、現在小学生を中心に月に1回程度、約15名が活動している。</p> <p>主な活動は、復興支援などの自主ボランティア活動のほか、町内団体や各事業主催者より依頼を受け、支援活動等を行なっている。活動内容や依頼に対する支援活動への参加については、子どもたち自身が協議を行い決定している。</p> <p>今年度は、平成24年度から行っている被災地支援として、町主催行事の「祭りあしや」で朝倉市の農産物の販売を行ったほか、環境美化活動として町内のゴミ拾いを行った。また、町内の福祉施設で、盆踊りや夏祭り等のイベント支援や施設利用者との交流を行うとともに、町主催行事の「人権まつり」でゲームコーナーの運営、ボランティア活動センター主催行事である「あしやまちマーケット」での販売やわたがしコーナーの運営を行った。</p>		
<p>9 成果・課題・今後の展開</p> <p>○活動について考え、実践することで、子どもたちの自主性や社会性を高めることができている。</p> <p>○地域活動に参加することで、異なる世代とのふれあいや交流、地域社会のつながりを生んでいる。</p> <p>●ボランティアについての考えや、活動に対する意識(遊びではない意識)が不足している。</p> <p>◇活動だけでなく学習の機会を設けて、ボランティア活動について考える場をつくる必要がある。</p>		



1 市町村名	2 団体名	3 連絡先
添田町	英彦山こてんぐ塾	URL http://kottengu.jp/
4 活動名 ガイドボランティア	5 活動時間 不定期	
6 活動日 <input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input checked="" type="checkbox"/> その他	7 コーディネーターの属性 (地域)	
<p>8 活動概要</p> <p>「地域の自然や文化、歴史を通じ子どもの社会力を育成して、住みよい魅力あるまちづくりを推進すること」を目的とし、平成24年から子どもたち、保護者、協力者や外部の方々などと活動をしてきた。交流体験活動として、英彦山神宮神幸祭参加、福岡県立英彦山青年の家における宿泊研修(添田町ガイドボランティアからの講話、フィールドワーク、ほら貝作成)を実施した。また、山開き登山では、北西尾根を経由した新たなコースへ60名が参加した。ガイドボランティアと広く英彦山の周知を図る活動として、「英彦山モニタリング親子ハイキング」を行い、町内外の方も合わせ61名の方が参加した。</p> <p>広報活動として、保育園の夏祭りに参加し、活動紹介や出店活動を行った。</p> <p>落合小学校と連携した郷土学習「こてんぐ学習」の中では、英彦山の自然や歴史の学習において当会会員がGTとして学校支援をしている。</p>		
<p>9 成果・課題・今後の展開</p> <p>○新しく実施した英彦山神幸祭への参加やモニタリングハイキングは、外部の方に英彦山を広めていく活動として有効であった。</p> <p>○地域内の他団体と連携した広報活動は、子どもたちの育成環境を外部の方が知るきっかけとなった。</p> <p>◇今後はさらに会員間、地域内外での協力を得ることやこてんぐの活動を広めていくことに取り組み、子どもの社会力育成やまちづくりなどにつながる活動を展開していく。</p>		



1 審議テーマ

持続可能な地域づくりを推進するための社会教育行政の在り方

2 設定理由

- 国においては、本年3月に「人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて」という論点の整理が行われ、社会教育に期待される3つの役割と2つの方向性が示された。

その中には、次世代の地域の担い手である子どもや若者も交えた多世代交流を通じた地域の絆づくりや全ての住民が、地域社会の構成員として社会参加できる仕組みをつくること、そして住民に多用な学びなおしの機会を提供する必要があること等が示された。加えて、地域課題解決学習の推進により住民の主体的参画による持続可能な地域づくりを行うことが示された

- また、「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について」においては、さまざまな環境変化に対応し、人々が孤立することなく生きがいをもって社会参加をし、地域社会の活力が維持・向上するよう、人々の暮らしの向上と社会の持続的発展に向けた学びを推進することが示されている。
- 本県においても、地域づくりを推進するための社会教育行政の現状と課題を明らかにし、地域課題を解決する人材の育成や多様な団体・施設と連携して地域全体で子どもを育て、地域づくり・絆づくりを行っていく必要があると考える。そこで、本会議においては、本県の地域における社会教育の現状について調査・分析を行い、今後の地域づくりを推進するための社会教育行政の在り方について審議する。

3 審議内容

- (1) 福岡県内における地域・学校・家庭・子どもの現状調査
- (2) 調査結果の分析及び審議テーマに関する提言

4 その他

- 視察調査の実施

5 審議経過

< 1 >平成29年10月31日

全体会

- 議長・副議長の選出
- 審議テーマの検討
- 意見交流

< 2 >平成30年1月23日

全体会

- 審議テーマの検討
- 意見交流

< 3 >平成30年5月9日

全体会

- 審議テーマの検討
- 意見交流

< 4 >平成30年10月16日

全体会

- 審議テーマの決定
- 視察調査についての説明
- 意見交流

◎平成30年10月～12月

※視察調査の実施

< 5 >平成30年12月18日

全体会

- 視察調査報告
- 鍛ほめ福岡メソッドを取り入れた社会教育活動の推進について
- 社会教育施設の改善の方向性について

< 6 >平成31年2月1日

- 審議のまとめ（案）について

< 7 >平成32年3月12日

- 審議のまとめ（案）について

< 8 >令和元年5月28日

- 審議のまとめ（案）について
- 今期テーマについてのまとめ